

低学年のめざす子ども像と具体的な手だて

1. めざす子ども像

思いをもち、表出する子

「思いをもち」とは…

見たり聞いたり触ったりなど五感をとおして自分の思いや考えをもつとともに、分かったことや自分の思いを「話したい」「書（描）きたい」、活動を「やってみたい」、作品を「作ってみよう」など、学習活動への意欲や願いをもつ姿。

「表出する」とは…

学習活動でもった思いや願いを、話したり、書（描）いたり、作ったり、身体で表現したりして他に伝えるとともに、それらの活動をとおして学習への意欲や願いを実現していく姿。

授業での具体的な姿・イメージ

- ・ 5から2をとったら、残りは3こになったよ。式を発表したいな。（算数）
- ・ へってないのに、わけても、よけてもひき算なんだね。（算数）
- ・ バラの3からひけないぞ。タイルを動かしてやってみよう。（算数）
- ・ 10のタイルからならひけるぞ。前に出て黒板のタイルを動かしてみんなに見せたいな。（算数）
- ・ わたしも一人ぼっちになったらさみしよ。スイミーもさみしかっただろうね。スイミーのさみしさが表れるように音読を工夫しよう。（国語）
- ・ お世話しているトマトの元気がないよ。トマト先生に聞いて、元気にしたいな。（生活）

2. めざす子ども像に迫るための具体的な手だて

（1）考える場を保障した課題解決型の学習過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題をもつ→自分の考えをもつ→交流する→ふりかえるを基本とし、繰り返すことで学習方法を伝えていく。 ・ 導入でひきつける工夫をし、自分の思いを表出する場を保障する。 ・ 操作や活動をとおして、考えをもつようにする。 ・ ふきだしカードやワークシート効果的に使う。
（2）学習意欲を喚起し、思考を促す学習課題（追究課題）の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の実態をふまえ、児童が主体的に追求できるような課題づくりをする。 ・ 課題は、児童にとって分かりやすく具体的な言葉で提示する。
（3）豊かな思考を生み出すための、五感をとおした学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験活動を多く取り入れる。 ・ 具体的な操作を取り入れる。 ・ 動作化する。 ・ 視覚に訴える。
（4）子どもの思考を支援する板書の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を書く。 ・ 要点を大きく書く。 ・ 色を使う。 ・ 絵、教具を取り入れる。
（5）その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ あたたかい人間関係を生かした学級経営をする。 ・ 生徒指導の3機能が機能化する授業をめざす。

中学年のめざす子ども像と具体的な手だて

1. めざす子ども像

考えをもち、聞き合う子

「考えをもち」とは…

既習や生活経験を活用したり、事実や事象を比較したり分類したりしながら、「どうして…」と疑問をもったり、課題に対して「こうかな」と予想や考えをもったり、「こうすれば…」と解決方法を考えたりする姿。

「聞き合う」とは…

自分の立場をはっきりさせて話したり、「似ているな」「少し違うな」など自分の考えと比較しながら聞いたりすることをおして、個から集団へと考えを広げ、課題解決へと向かっていく姿。

授業での具体的な姿・イメージ

- ・ 学校の東がわには、大きな工場やお店、山があることが分かったよ。東がわにだけあるものを考えると町の特徴が分かるね。(社会)
- ・ 汚れをそのままにしておくと、ばい菌が増えたり、においがくさくなったりするよ。(保健)
- ・ めあてをしっかりともち、教え合いながら練習したら、できるようになったよ。(体育)
- ・ 電気を通すもの(金属)は、磁石にくっつくんじゃないかなあ。(理科)
- ・ 「5W1H」は抜かしてはいけないんだね。「どのように」が詳しく書いてあると、よく分かる文章になるよ。(国語)
- ・ 閉じ込められた空気に力を加えて、せんを飛ばした経験と比べて考えてみよう。(理科)
- ・ お風呂に入ったときを思い出すと、水のあたたまり方は金属のあたたまり方とは違うような気がするよ。(理科)

2. めざす子ども像に迫るための具体的な手だて

(1) 考える場を保障した課題解決型の学習過程	<ul style="list-style-type: none">・ 課題をつかむ→自分の考えをもち→交流する→ふりかえる等の一連の過程を繰り返す。・ 自分の考えをもちのために書く、線を引く、まわりの子と交流する等、多様な方法をとる。・ 考えをつくる時間を保障する。
(2) 学習意欲を喚起し、思考を促す学習課題(追究課題)の設定	<ul style="list-style-type: none">・ 教材の本質に迫る課題にするために、教材研究をする。・ 教師がねらいをしっかりともち、児童の実態をふまえ、思いや考えを大事にしながら、児童の主体的な課題にしていく。・ 子どもの驚き疑問を大切にしたい課題づくりをする。
(3) 豊かな思考を生み出すための、五感をととした学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none">・ 見学、GTの活用、操作活動、実験、観察などの直接体験や視聴覚教材、動作化などの間接体験を学習過程の中に位置づける。
(4) 子どもの思考を支援する板書の工夫	<ul style="list-style-type: none">・ 板書計画を立てる。・ 課題やねらいがはっきりするように明記し、多く書き過ぎない。・ 立場や考えをはっきりさせるために、名札を位置づける。
(5) その他	<ul style="list-style-type: none">・ 相手を大事に、認め合う学級づくりをする。・ 友達同士の教え合いを取り入れる。・ 教材研究の際に教師が協同研究をする。

高学年のめざす子ども像と具体的な手だて

1. めざす子ども像

考え出し合い、深める子

「考えを出し合う」とは…

「～さんの意見について」「～のことについて」など友達の意見や立場を聞き分け、それになげながら、課題に対する疑問、予想や考え、解決方法などを、論拠を明確にして筋道を立てて話し合う姿。

「深める」とは…

話し合いによって出された多様な事実や考えを問い返したり質問したりしながら吟味し、「～さんの考えを取り入れて」「〇〇と△△から考えると」など、個から集団へ広げた考えを、組み合わせたり関連させたりしながら総合的に考え、課題解決へと向かっていく姿。

授業での具体的な姿・イメージ

- ・ 同じ分子をもつ分数の場合、分母が大きいほど1をたくさんに分けることになるので、分母が小さい方が分数として大きくなるんだね。(算数)
- ・ 調べたら、ゴミは減らせると思ったよ。〇〇さんの考えや△△さんの調べたことを聞いたら、簡単に減らせないんじゃないかと思うなあ。(国語)
- ・ 五角形の内角の和は、測ったり、切ってつなげたり、三角形や四角形に分けたりすると求められるよ。この中で一番簡単なやり方は、三角形に分けるやり方だ。(算数)
- ・ 自分の作りたい縄文土器するために、いろいろな道具を工夫して使って、イメージどおりの飾りをつけることができたね。(図工)
- ・ 面の数や形、辺の数などに目をつけると立体を仲間分けすることができるよ。同じ立体でも見方を変えるといろんな分け方ができるんだな。(算数)
- ・ 伝染病や災害、貴族の反乱で不安な世の中を、聖武天皇は仏教の力で平和にしたかったんだね。世の中の安定を願っていたんだね。(社会)

2. めざす子ども像に迫るための具体的な手だて

(1) 考える場を保障した課題解決型の学習過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題を明らかにしてから、考える場をもつようにする。 ・ 考えをつくる時間を保障し、書かせる。 ・ ふりかえり（課題の答え、分かったこと、感想など）を書き、自分の考えの変容に気づいたり、次時の学習につなげたりできるようにする。 ・ 「課題をもつ→自分の考えをもつ→交流する→ふりかえる」という学習過程をパターン化する。
(2) 学習意欲を喚起し、思考を促す学習課題（追究課題）の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考えが出るような課題を工夫する。 ・ 子どもの疑問を大切に課題をつくる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 体験活動をとおした課題づくり ② 既習や生活経験を生かした課題づくり ③ 「なぜ」「どのように」など、理由や方法を問う課題 ④ 考えるポイントがはっきりしたシンプルな表現 ⑤ 子どもの発言を生かした表現
(3) 豊かな思考を生み出すための、五感をとおした学習活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学、GTの活用、算数的活動、実験、観察などの具体的な活動を、課題をつくる場面や課題解決の過程で取り入れるようにする。
(4) 子どもの思考を支援する板書の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を書く。 ・ 子どもの考えを位置づける。(ネームプレート、発表ボード、紙などの活用) ・ 板書計画を立て、構造的な板書に心がける。 <ol style="list-style-type: none"> ① 事実と考えを色分けする。 ② キーワードで書く。 ③ 矢印や線で結んだり、分類して囲んだりする。 ・ 板書を模造紙に写して掲示し、学習の足跡を残す。
(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期に1つ程度、力を入れる単元を設定する。

